第5回　長良川遊水地
河川環境調査検討会
【資料5】

※希少種保護の観点より、生息地等の情報を掲載している資料ページを非表示としております。

# 第5回　長良川遊水地河川環境調査検討会
# 【今後の予定】

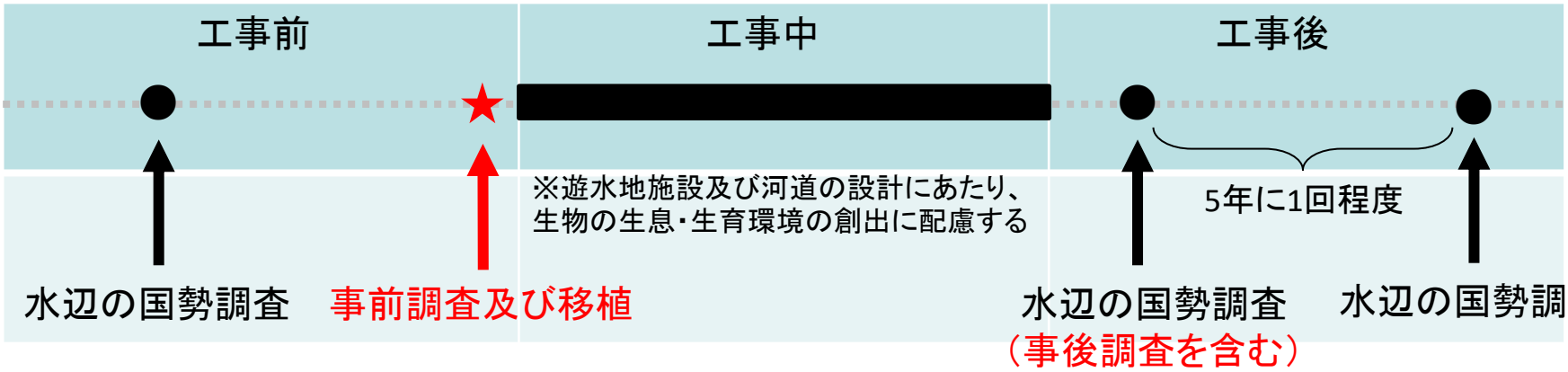
令和8年10月15日
国土交通省　中部地方整備局
木曽川上流河川事務所

# 今後の予定

国土交通省

＜遊水地の工事実施にかかる調査の流れ＞

○ これまでの検討会での検討を踏まえ、工事を実施する前に事前調査を実施し、工事後には水辺の国勢調査等を活用してモニタリングを行う。




＜今後の検討会の進め方＞

○ 検討会は、毎年度１回程度開催することとする。

○ 今後の検討会では下記の事項を報告する。

・事前調査及び移植の実施報告
・モニタリング結果の報告
・環境の保全・創出について
・その他、事務局が必要と判断したもの

# 遊水地における河川環境の保全・創出の検討

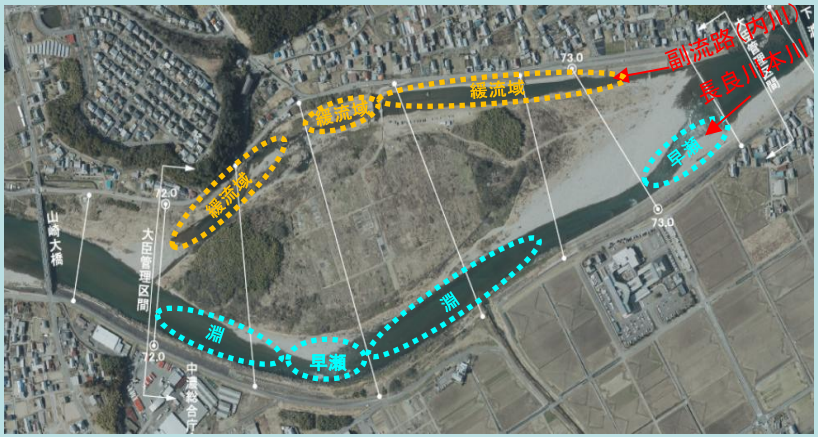
国土交通省

○現在、美濃市地区・関市地区において、遊水地の概略設計及び一部、用地取得を進めているところ。

○今後、詳細設計と併せて、地元の意向を聞き取りながら環境の保全・創出案、遊水地の上面利活用案を検討する。

## 環境保全・創出　検討例

例1
遊水地整備における魚類の保全・創出
・緩流域である内川（美濃市地区内に位置する長良川副流路）において、平常時に通水させることにより、河川環境を保全・創出
・洪水時の魚の避難場所を作ることにより、魚類の生息環境の保全・創出




長良川と内川

例2
河道掘削・河床整正工事における魚類の生息環境の保全・創出

- 玉石を河道内に存置することにより、魚類の生息環境の保全・創出
- 根固めブロックの空隙確保により、ネコギギ・オオサンショウウオの生息環境の保全・創出（美濃市地区において実施予定）



砂州前面の玉石（R6.10）

# 内川周辺の河川環境等の整理
# （検討にあたっての基礎情報）

# 内川の河川特性

国土交通省

○ 美濃市地区の内川（長良川本川の副流路）は、中島への橋梁（渡河部）の上下流で環境が大きく分かれ、上流側は変化の少ない平瀬的環境であり、下流側は地形の変化が大きくワンド的環境を有する。

○ 縦断図で見ると、橋梁より下流側で大きな水深の変化がみられる。（令和8年10月中心線測量）



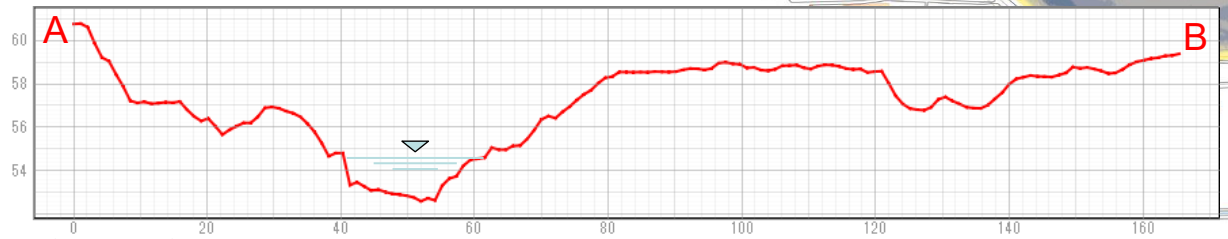
橋梁下流の地形に変化が大きく、水深の深いワンド的環境がある。

橋梁上流の地形は変化が少なく、平瀬的環境が続く。

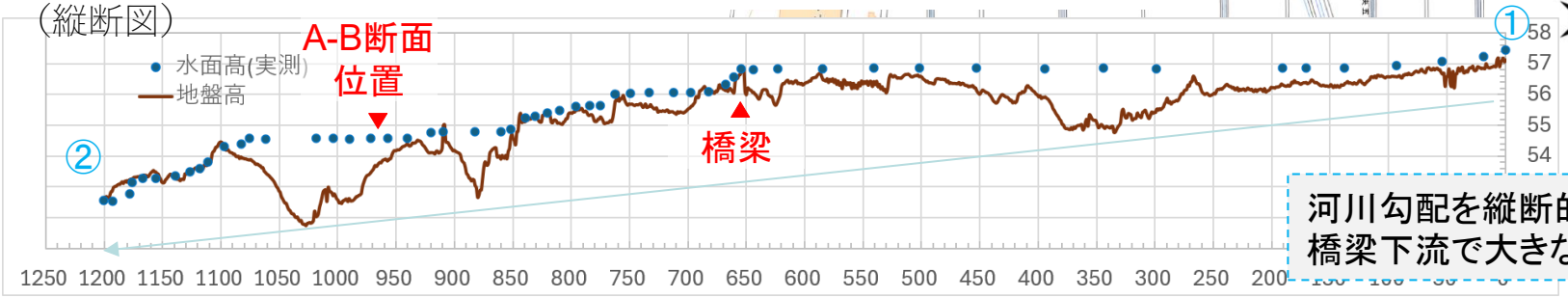





（横断図）




（縦断図）




河川勾配を縦断的にみると、橋梁下流で大きな水深の変化。

# 内川を含む周辺環境

国土交通省

○ 美濃市地区の内川を含む周辺は、夏季は美濃市民花火大会の観覧席として利用されているほか、長良川本川では友釣専用区の設定がされている。

○ また、内川においては、冬季の管理釣り場として利用、夏季は水遊び場としての利用がされている。



# （参考）内川を含む周辺環境

国土交通省

○ 平水時の内川は、流入部から橋梁（渡河部）までは単調な環境が連続しており、橋梁より下流にはワンド的な環境がある。


下流のワンド的環境


橋梁付近


内川の上流部


橋梁直下流


内川への流入部